

アメリカ・ミネソタ大学マンケート校 留学報告書

学部学科・研究科専攻	海洋学部海洋生物学科		留学時学年	2年
留 学 先	国	アメリカ	大学/機関	ミネソタ大学マンケート校
期 間	2025年2月16日 ~ 2025年3月9日			
	短期		計1ヶ月	

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名（受講科目・複数可）

- ・授業時間数：
 - ・34 コマ （1 コマ 2 時間）
- ・科 目 名：
 - ・Writing (毎週月・水曜日)
 - ・Reading and Vocabulary (毎週火・木曜日)
 - ・Listening and Speaking (毎週火・木曜日)
 - ・Special Topics: Social Justice and Human Rights (毎週火・木曜日)
 - ・Language Partners (毎週木曜日)
- 2 週目から組み込まれた授業
 - ・Education and Culture in the US (火曜日)
 - ・Human Development (2 週目水曜日・3 週目月曜日)

時 間	月	火	水	木	金	土	日
8:00~9:50		○		○		Free	Free
※9:30~10:45	○		○				
10:00~11:50		○		○	○		
13:00~14:50	○	○	○	○			
15:00~17:00				○			
※16:00~16:50		○					

※この時間の授業は 2 週目からスタートしたスケジュールで語学のプログラムではなく、大学の授業の見学だった。

アメリカ・ミネソタ大学マンケート校 留学報告書

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

- ・全体で 14 人(途中から 15 人)
- ・対面式
- ・教材は授業初日に学校側から渡された、全部の授業で使用する教材が一つにまとまっているもの
- ・日本(9 人+途中で他の学校から 1 人)、韓国(1 人)、ベトナム(2 人)、サウジアラビア(2 人)、

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

- ・毎週金曜日はアクティビティな事がプログラムに組まれていた。
 - ・1 週目の金曜日は午前にディスカッション、午後から映画館でハリーポッターを鑑賞、夜はスノーチュービング
 - ・2 週目の金曜日は午前にディスカッション、午後から学校内にあるボーリング場でボーリング、夜はアイスホッケーの試合観戦
 - ・3 週目の金曜日はセレモニーとランチ
- ・授業と授業の間の空きコマは課題をしたり、ジムに行ってバスケットボールや器具を使って軽く体を動かしたりして、空きコマを活用していた。
- ・土日はホストファミリーと過ごす
 - ・1 週目の土曜日は留学に行った生徒全員でモールオブアメリカ(大型ショッピングモール)に行った。(何組かのホストファミリーに協力してもらい、乗り合いで現地に向かった。) 日曜日は午後から近くのモールに連れていってもらい、友達に渡すお菓子を買った。
 - ・2 週目の土曜日は陶器にペイントできるお店に行った。夜はお寿司屋さんに行った。日曜日は再びモールオブアメリカに行った(この日は全員で行ってない)。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

- ・メイン校舎(CSU)
 - ・授業で使った教室(Morris Hall)
- ・ジム(Otto Recreation Center)

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋：1 部屋__1__人で使用

様子：

- ・2階建ての一軒家だった。1 階にあるゲストルームに案内された。1 階にバスルームと洗濯機があったので、そこを使わせていただいた。尚、バスルームは1 階にも2 階にもあったので共有して使用することはなかった。2 階はホストファミリーとご飯を食べる時やテレビを見る時などするときに行った。家

アメリカ・ミネソタ大学マンケート校 留学報告書

に犬がいたのでその犬と戯れたり、遊んだりした。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

特に楽しかったことはスノーチュービングとアイスホッケーの試合観戦だった。スノーチュービングはカバーが付いているタイヤ(そりの役割)に乗り、雪のスライダーを滑るアトラクション。スピードが結構出て、ジェットコースターに乗っている感覚だった。タイヤに運ぶ時に引っ張るロープのようなものがついており、それを後ろの人が持つを繰り返し、9人全員で一斉に滑ったり(一列に連なっている)、円の隊形で滑ったりした。アイスホッケーは名前ぐらいしか分からなく、今回初めて試合を観た。ミネソタ州ではメジャーなスポーツだそう。試合観戦をして迫力がすごかったし、応援の様子などもアメリカだなと思うことが何回かあった。どちらも日本では経験できないことだったのでとても楽しかったし、それぞれで日本との文化の違いをかんじたのでそれも良い経験になった。

● 苦労したこと：

ホストファミリーとのコミュニケーションが少し大変だった。会話の内容をすぐ理解できる時とできない時があったので時間がかかったり、自分の発音が悪く伝わってない時があったりした。また、留学して初めの2、3日は緊張もあって自分の意見を言えなかった。徐々に環境に慣れていき伝えられるようになった。自分の考えを正確に伝えたくても、違った意味で伝わっていたこともあったので難しいなと考えた。自分の意見を伝えたくてもそれに該当する単語やフレーズが思い出せなかったり、分からなかったりしたので勉強不足だなと感じることが多々あった。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

留学の初日と比較すると、リスニング力は向上したように感じた。毎日英語を聞いているので自然と耳も慣れてきて、会話の内容も理解する時間も早くなっていった。スピーキング力は、ホストファミリーがよく使っているフレーズやラングエッジパートナーと言う授業で他の生徒さんが言っていたフレーズなどを自分でインプットしながら徐々にその表現を日常的に取り入れてた。

2) 専門知識の向上：

自分の専攻している学科が英語とは少し離れているので、専門知識が向上しているかは分からない。しかし、今回の留学で何回かプレゼンテーションをする機会があった。授業によってはプレゼンテーションがある授業があるので、ジャンルが違いますが良いプレゼンテーションの練習になったなと感じた。プレゼンテーションのテーマによっては自分が知らないことで調べながら自分の意見も交えていく過程が面白かったし、知らなかったことも知れるので楽しかった。

アメリカ・ミネソタ大学マンケート校 留学報告書

3) 自己成長など

自分の意見や考えを相手に伝えること。日本にいるときは相手の意見を聞いたり、合わせたり、自分の意見を言わないことが多かった。しかし、アメリカに留学して感じたのは相手の意見を聞いた後に自分の意見を言ったり、自分が相手と違う考えだったらしっかりと伝えたりと自分の意見を伝えていることが多かった。実際に留学期間中「あなたはどのように考えているの?」といったような質問が多かった。それから、自分の意見を相手に伝えないいけないなと考えた。環境の違いがあるかもしれないが、うやむやにせず自分の考えをこれから伝えていきたいと考えた。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします!

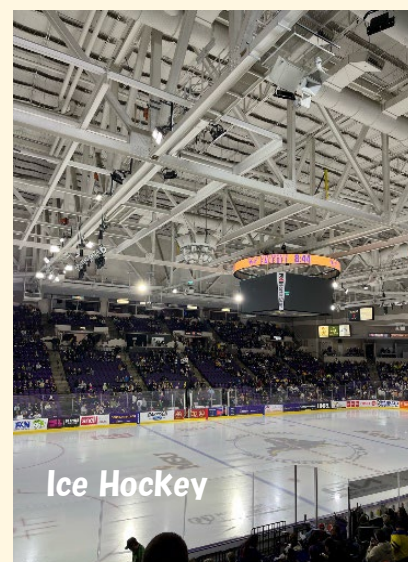
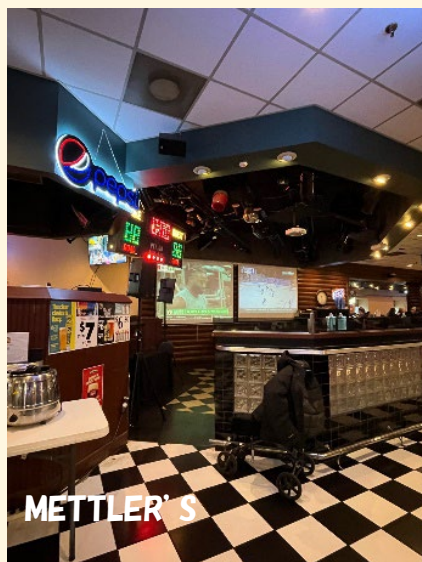
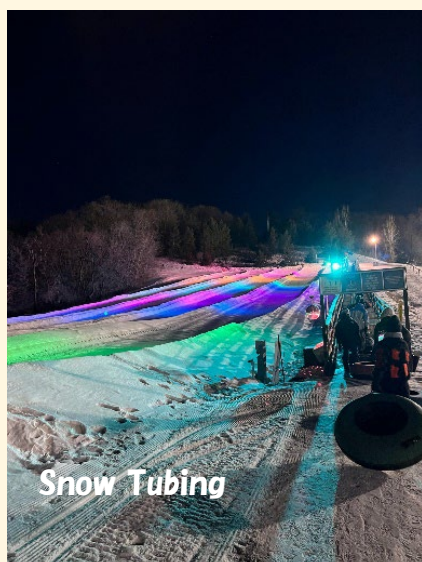
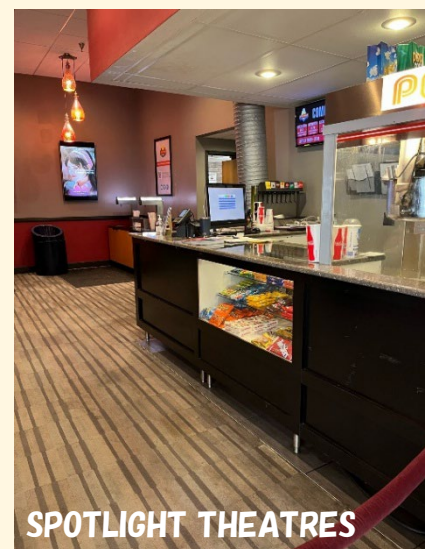
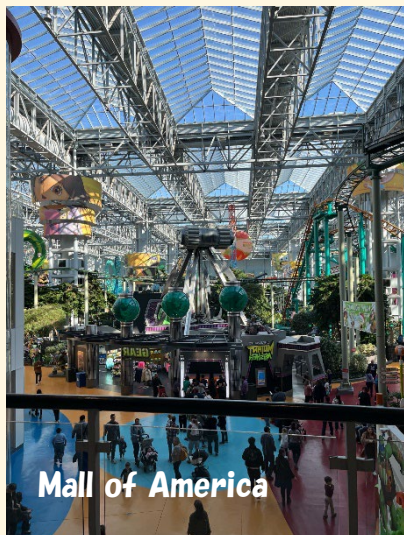
最低限の英語力は日本で勉強してから留学した方が、リスニング・スピーキング・ライティングのスキルアップは分かりやすくなるかなと思います。アメリカは Yes と No がはっきりしているので、曖昧ではなくしっかりと伝えた方がいいです。自分の思っていることもはっきりと伝える(特にホストファミリー)とコミュニケーションも取りやすくなります。日本では経験できないことも沢山あり、刺激的な日々を送れます!

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	75万円
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	約11000円
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	0円
現地からの奨学金がある場合	-
お土産代や個人的な買い物	70000円
その他()	-
留学に関する費用の総額	831000

海外派遣留学生

アメリカ・ミネソタ大学マンケート校 留学報告書



海外派遣留学生

アメリカ・ミネソタ大学マンケート校 留学報告書

